

# 私たちが生かすために

2021年12月5日

ペテロの手紙 I 3章18～22節  
2章21～25節

マルコの福音書 10章45節

序：キリストが来られた目的 = 罪人を救うため  
失われた人を捜して救うため

例：ザアカイ、パウロ、私たち

救い 狭義 …… 十字架の贖い (罪の赦し、新生、永遠のいのち)  
広義 …… 選び ~ 新生 ~ 聖化 ~ 栄化  
  ↓                  ↓  
  洗礼              聖餐

ペテロ I 2・2

## I. キリスト来臨の目的 (何のため? だれのため?)

マルコ 10・45

(1) 仕えられるためではなく、仕えるため

王の王、主の主 ⇒ しもべ

神 ⇒ 人

至高 ⇒ 最低

(2) 多くの人の贖いの代価として、自分のいのちを与えるため

↓

売られて人手に渡ったものを買い戻す (代価が必要)

本来の持ち主のものとなる

ペテロ I 2・25

ペテロ I 3・18

(1) 正しい方が正しくない者たちの身代わりとなるため

罪には罰が伴う (一つの罪には一つの罰)

一度、完全・徹底的に

本人 or 身代わり

(2) 正しくない者たちを神に導くため

創造者、救い主、審判者

神に立ち帰る、放蕩息子の帰還

## II. どのように実現されたか

ペテロ I 3・18

(1)肉においては死に渡され、霊においては生かされて

十字架上の死 と 体ごとの復活 勝利宣言

3・19～20

ペテロ I 2・22～24

(2)罵られても、苦しめられても、自分で復讐せず、父なる神に委ねた

十字架の上で、すべての彼の民の罪を負われた（一身に引き受けられた）

自発的な犠牲

## III. 信じる者はどうなったか（結果）

ペテロ I 2・24～25

(1)キリストの打傷によって癒された

(2)さまよっていたが、帰ってきた（たましいの牧者、監督者）

## IV. 救われた者はどうするのか

(1)救いを喜び、感謝する

(2)主イエスの命令に従う

(3)主イエスの模範にならう ペテロ I 2・21

主の足跡に従う 主が生活されたように生活する

主が人々に係わられたように、自分も努める

(4)主の約束を信じて、待ち望む

聖餐式はその一つ

世の終わり（救いの完成）まで守るべく定められた聖礼典

聖化の前進

狭義の救いにあづかった者が、広義の救いを目指して地上を歩んでいる

救いの完成は実現に至っていないが、確約されている

疑い、心配は無用